

決算説明会資料

2025年3月期

2025年5月27日(火)
<https://www.ohashi.co.jp>
証券コード: 7628



概要説明

1. 2025年3月期 業績

2. 2026年3月期 業績予想

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

2025年3月期

業績



2025年3月期通期 連結決算概要

(単位:百万円)

	2024年3月期	2025年3月期	前期比	増減額
売上高	39,212	40,017	2.1%増	804
営業利益	1,641	1,782	8.6%増	141
経常利益	1,992	2,362	18.5%増	370
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,006	1,522	51.2%増	516

	2024年3月期	2025年3月期	前期比	増減額
(単位:円)				
1株当たり当期純利益	75.07	115.95	54.5%増	40.88
為替レート(期中平均) (単位:円)				
1米ドル	140.56	151.58	7.8% 円安	11.02円 円安
1中国元	19.82	21.02	6.1% 円安	1.20円 円安
1タイバーツ	4.04	4.30	6.4% 円安	0.26円 円安
1英ポンド	174.86	193.70	10.8% 円安	18.84円 円安
1メキシコペソ	7.94	8.32	4.8% 円安	0.38円 円安
1台湾ドル	4.51	4.72	4.7% 円安	0.21円 円安

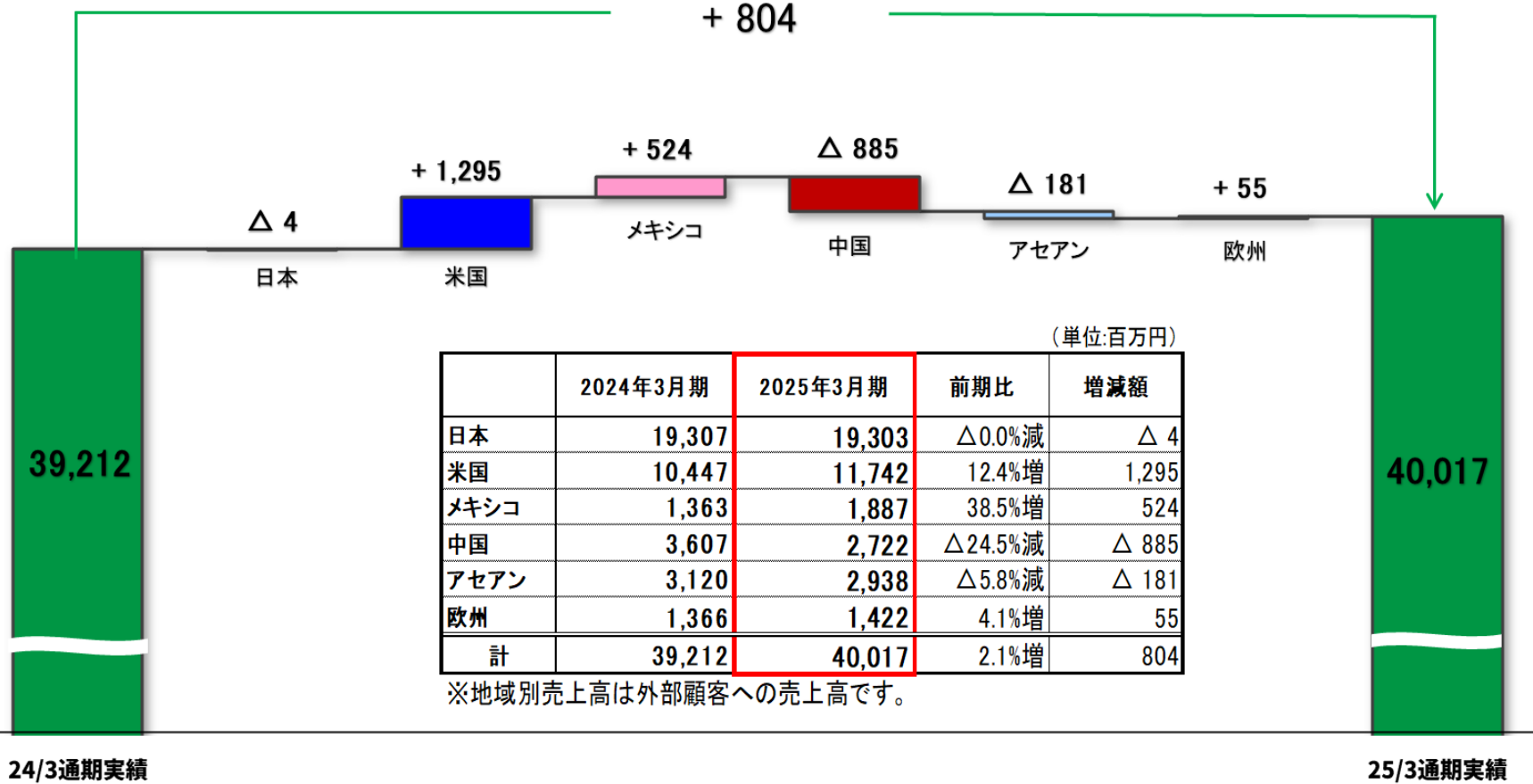
【連結決算サマリー】

- ◆売上高
 - ・国内での一部乗用車メーカーの減産、中国・アセアン地区での乗用車・商用車メーカーの減産影響はあったが、日本・米国・メキシコでの新規受注売上の寄与、円安に伴う為替換算のプラス影響により増収
 - ・国内売上高⇒ 略 同額 (前期)193.0億円 → (当期)193.0億円(△ 0億円)
 - ・海外売上高⇒ 4.1%増収 (前期)199.1億円 → (当期)207.2億円(+8.1億円)
 - ☛ 為替影響額 +14.1億円を考慮後、実質△6.0億円
- ◆営業利益
 - ・仕入価格、原材料価格の高騰、中国事業での損失の影響が続いたが、増収及び価格改定による売上総利益率改善(+1.0%)により増益
 - ・国内営業利益⇒ 17.4%増益 (前期)828百万円 → (当期)972百万円(+144百万円)
 - ・海外営業利益⇒ 16.1%増益 (前期)688百万円 → (当期)799百万円(+111百万円)
 - ☛ 為替影響額 +50百万円を考慮後、実質+61百万円
- ◆経常利益
 - ・営業利益の増加、及び営業外収益の増加により増益
 - (前期)1,992百万円 → (当期)2,362百万円(+370百万円)
 - ☛ 営業利益増加141百万円、営業外収益増加(受取利息・配当金+173百万円、為替差益+41百万円)計214百万円
- ◆当期純利益
 - ・特別損失の減少(前期は在外子会社資金流出事案に伴う損失 324百万円有り)、及び特別損失の発生(中国事業における事業構造改革費用計上 50百万円)
 - (前期)1,006百万円 → (当期)1,522百万円(+515百万円)

通期連結売上高 地域別増減(対前期)

(単位:百万円)

+ 804



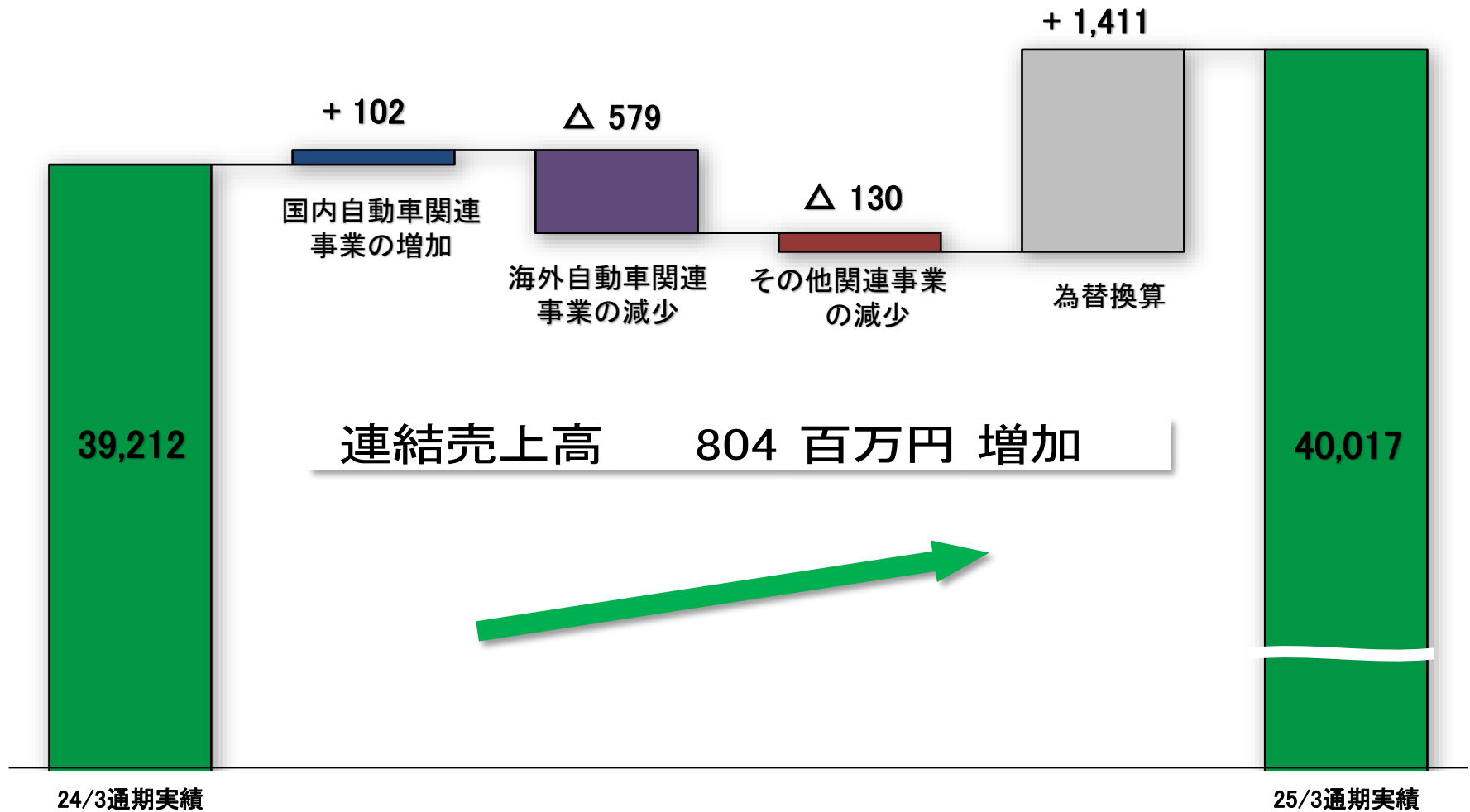
24/3通期実績

25/3通期実績

海外売上高比率 2024/3期 : 50.8%⇒2025/3期 : 51.8%

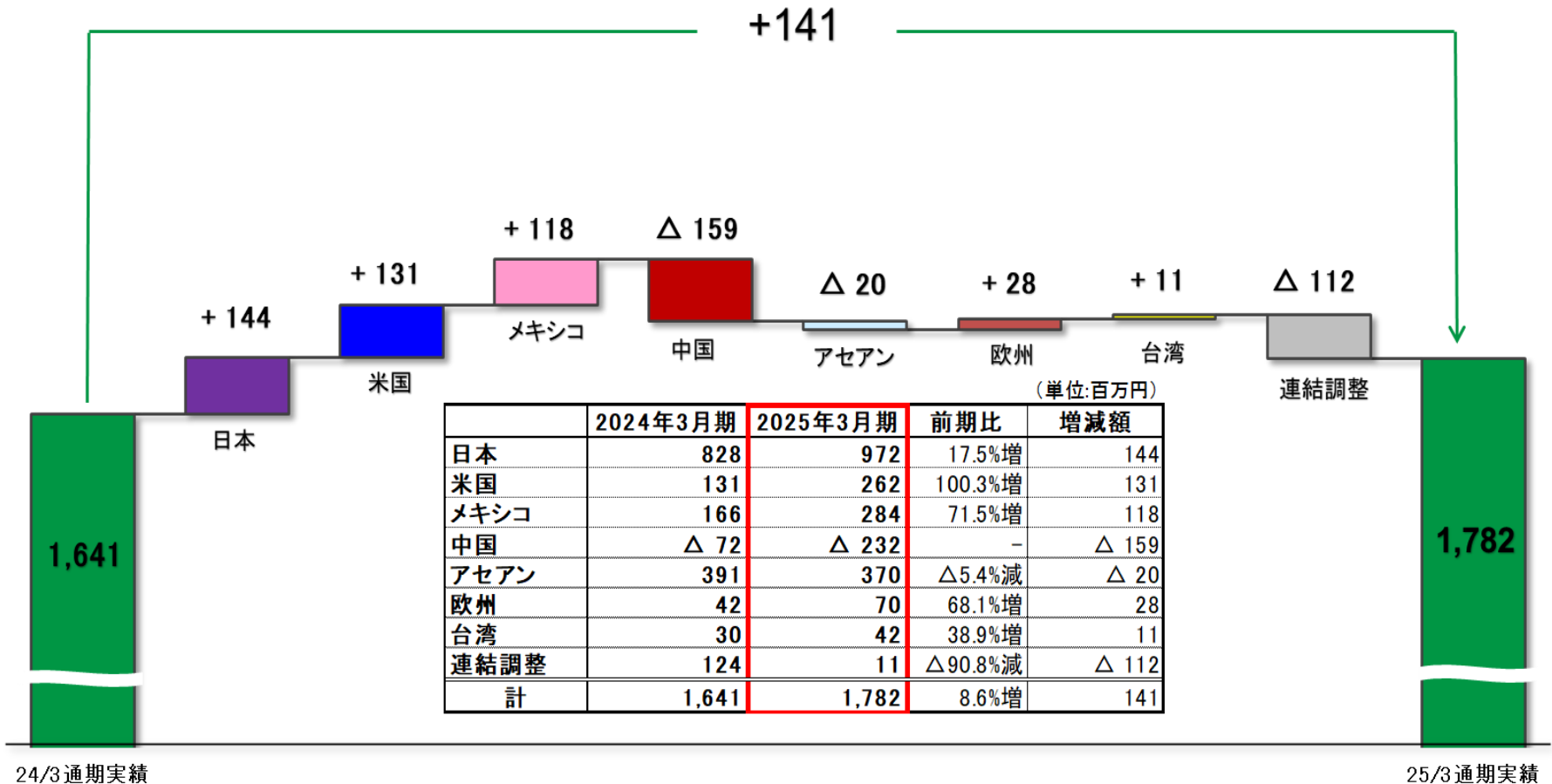
通期連結売上高 要因別増減(対前期)

(単位:百万円)

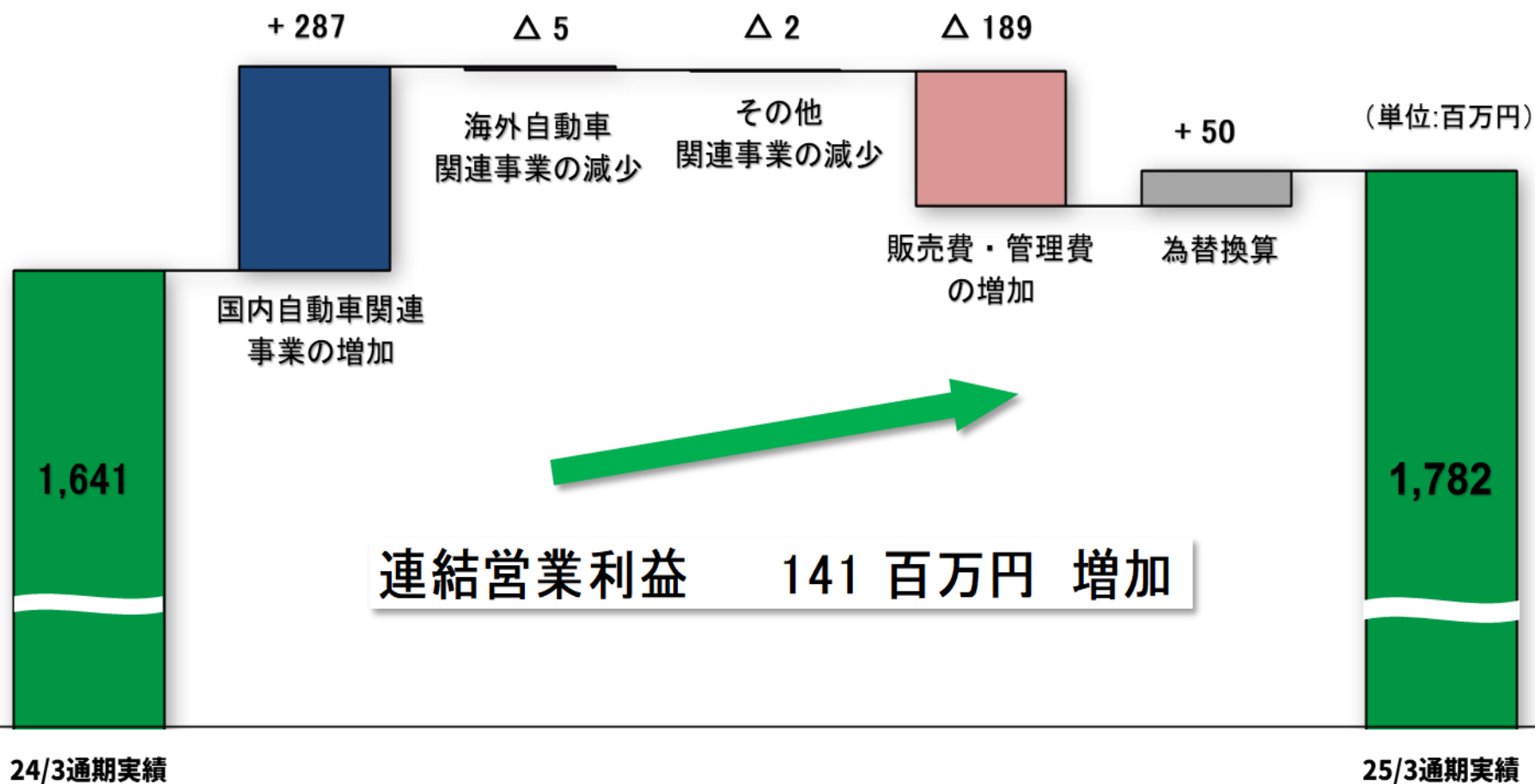


通期連結営業利益 地域別増減(対前期)

(単位:百万円)

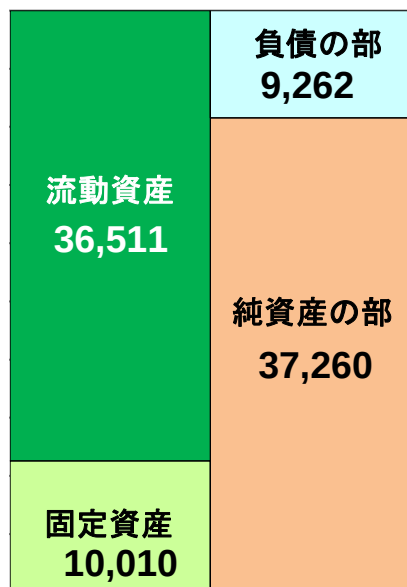


通期連結営業利益 要因別増減(対前期)



連結貸借対照表

2024/3 期



自己資本比率 (79.1%)

総資産
46,522 百万円

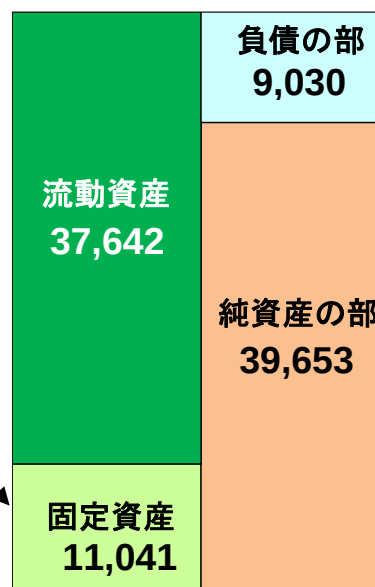
+1,131

- ・現預金の増加 +1,026
- ・売掛債権の減少 Δ 747
- ・棚卸資産の増加 + 556
- ・その他流動資産の増加 + 295

+1,031

- ・有形固定資産の増加 + 959
- ・無形固定資産の増加 + 5
- ・投資その他資産の増加 + 64

2025/3 期



自己資本比率 (80.4%)

総資産
48,683 百万円

(単位:百万円)

Δ 232

- ・仕入債務の減少 Δ 677
- ・未払金・未払費用の増加 + 191
- ・その他流動負債の増加 + 171
- ・繰延税金負債の増加 + 109

+2,393

- ・利益剰余金の増加 + 176
- ・自己株式の増加 Δ 60
- ・為替換算調整勘定の増加 + 2,252



2,161百万円増加

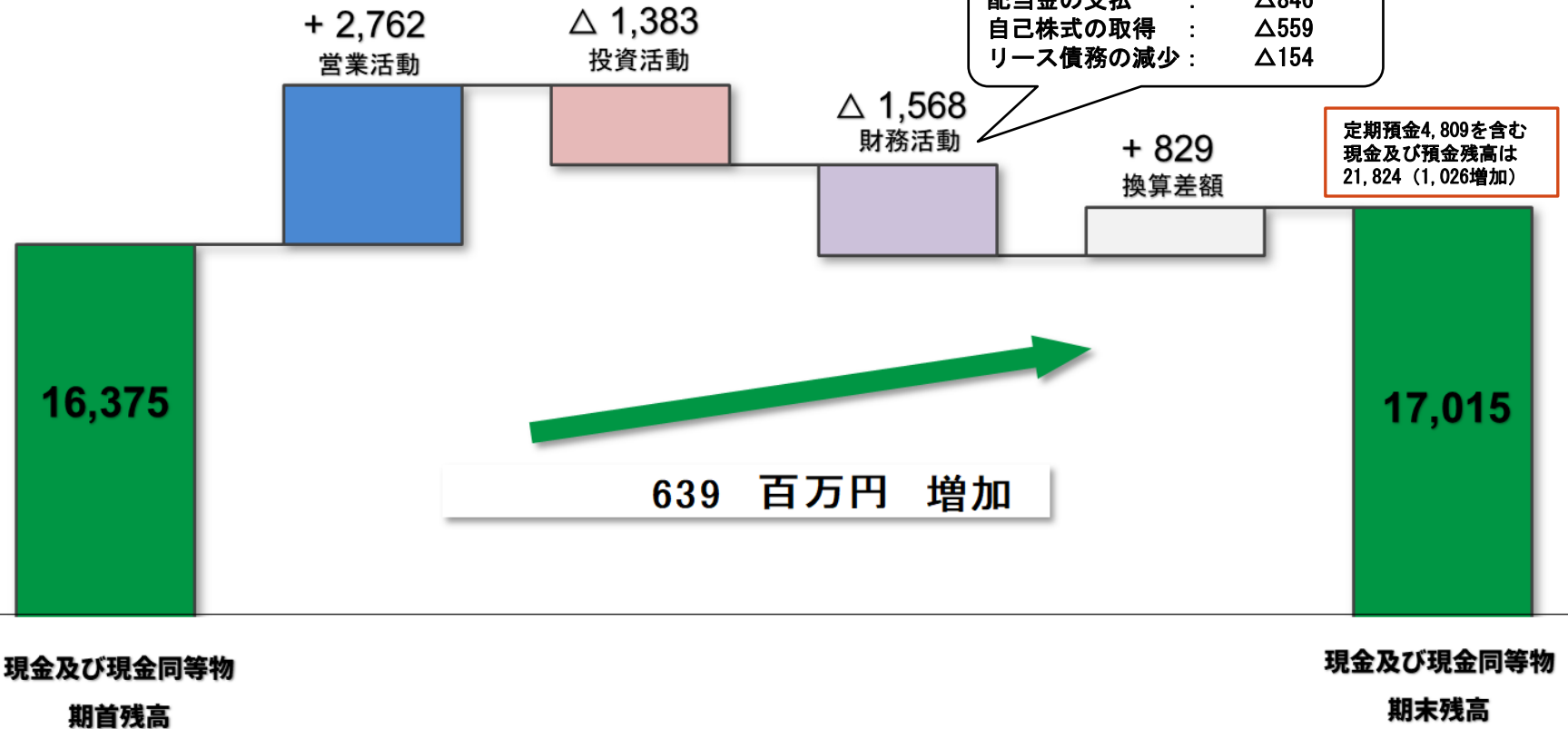
通期連結キャッシュフロー

(単位:百万円)

税前純利益 : +2,288
減価償却費 : +983
売上債権減少 : +1,064
棚卸資産増加 : △71
仕入債務減少 : △878
利息・配当受取 : +325
法人税等支払 : △660

有形固定資産の取得 : △1,415
無形固定資産の取得 : △14
投資有価証券の取得 : △12
定期預金の減少 : +55

配当金の支払 : △846
自己株式の取得 : △559
リース債務の減少 : △154



設備投資・減価償却費・研究開発費

(単位:百万円)

	2024年3月期 通期	2025年3月期 通期	増減額	2026年3月期 通期計画
設備投資額	1,323	1,488	165	2,600
減価償却費	902	983	81	1,150
研究開発費	61	87	26	200

※設備投資額実績は発生ベース

【主な2026/3期 設備投資予定】

＜国内＞ 850百万円

・オーハシ技研工業 機械設備 550 百万円
第二工場着工100百万円

＜海外＞ 1,750百万円

・OHASHI TECHNICA USA(工場拡張)
→建物880百万円、機械設備330百万円
その他械設備250百万円

・OHASHI TECHNICA THAILAND
→機械設備240百万円

【主な設備投資内容】

＜国内＞755百万円

・(株)オーハシテクニカ

～機械設備(鈴鹿工場太陽光設備)(97百万円)
金型、什器・備品等取得(102百万円)

・オーハシ技研工業(株)

～機械設備(397百万円)
金型・什器・備品等取得(151百万円)

・(株)オーハシロジスティクス

～什器、備品等取得(7百万円)

＜海外＞733百万円

・OHASHI TECHNICA U.S.A. MANUFACTURING, INC.

～機械設備(484百万円)、建物等(20百万円)、金型・什器・備品等(38百万円)

・大橋汽车配件(広州)有限公司

～検査器具100百万円、什器・備品・ソフトウェア22百万円

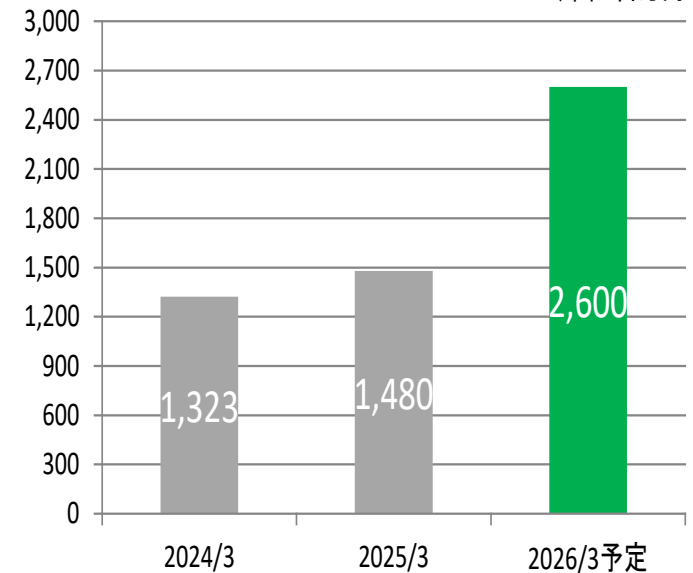
・OHASHI TECHNICA (THAILAND) CO., LTD.

～機械装置(122百万円)、什器・備品等取得(10百万円)

・その他子会社の金型、什器・備品等取得(19百万円)

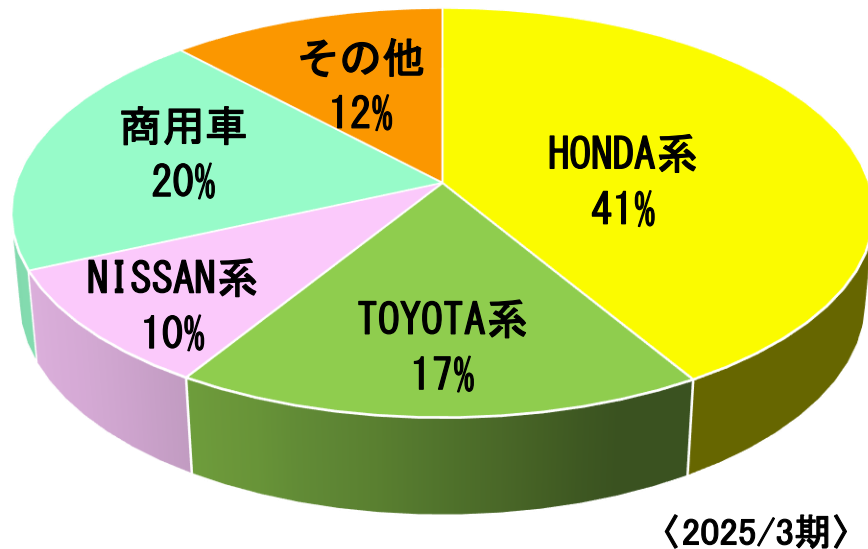
設備投資額推移(連結)

(単位:百万円)



連結 販売先構成

連結 グループ別売上比率



■ HONDA系 ■ TOYOTA系 ■ NISSAN系
■ 商用車 ■ その他

販売先上位10社

順位	2025年3月期
1	日野自動車(株)
2	本田技研工業(株)
3	(株)エイチワン
4	テイ・エス テック(株)
5	トヨタ自動車(株)
6	(株)アイシン
7	(株)ジーテクト
8	いすゞ自動車(株)
9	ユニプレス(株)
10	日産自動車(株)

※国内・海外の本体・子会社との取引額の合計

2026年3月期

業績予想



2026年3月期 通期 連結業績予想

(単位:百万円)

	2025年3月期	2026年3月期 予想	前期比	増減額
売上高	40,017	39,500	△1.3%減	△ 517
営業利益	1,782	1,950	9.4%増	168
経常利益	2,362	2,400	1.6%増	38
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,522	1,580	3.8%増	58

(単位:円)

1株当たり当期純利益	115.95	120.32	3.8%増	4.37
------------	--------	--------	-------	------

為替レート(期中平均)

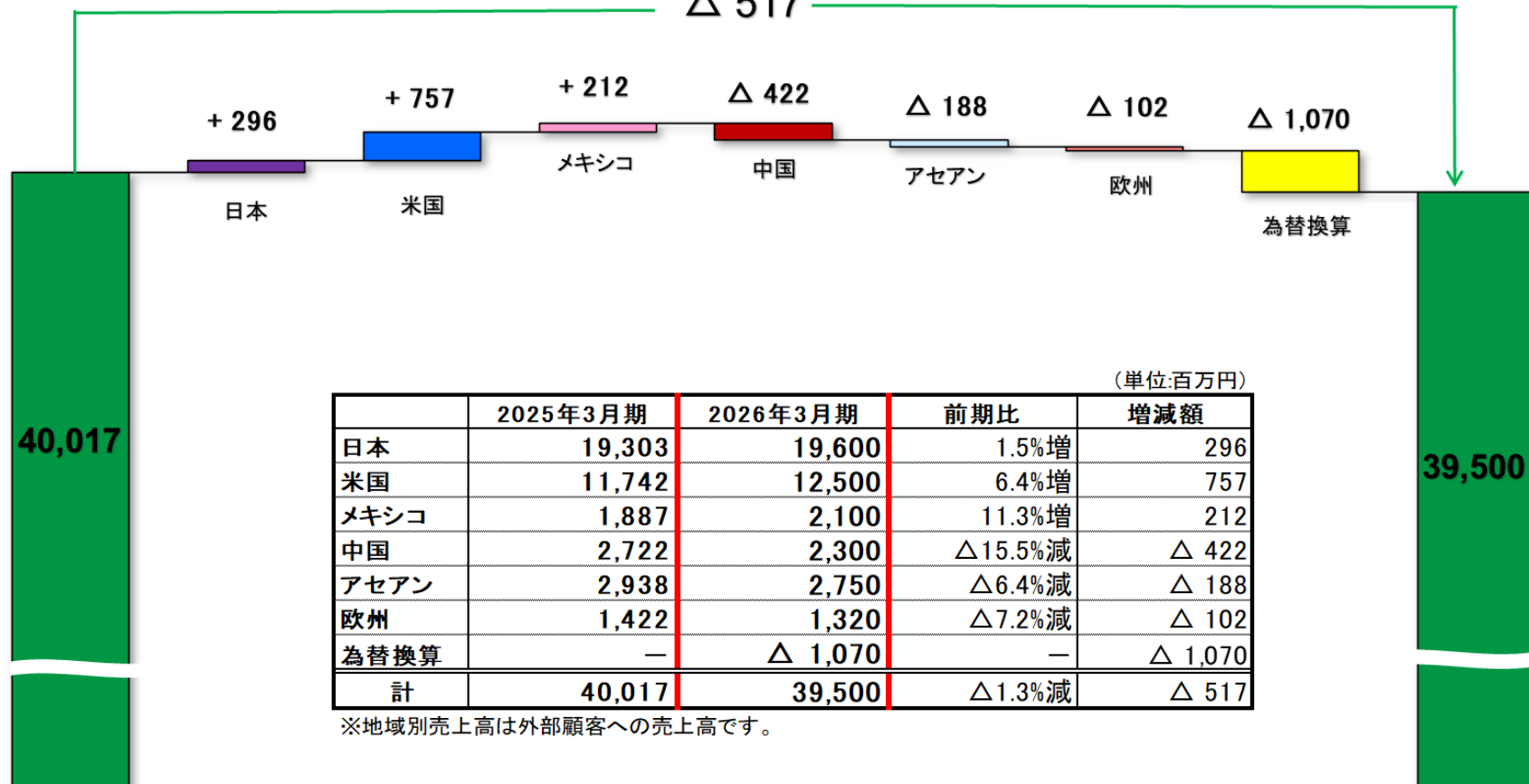
(単位:円)

1米ドル	151.58	145.00	4.3% 円高	6.58円 円高
1中国元	21.02	20.00	4.9% 円高	1.02円 円高
1タイバーツ	4.30	4.20	2.3% 円高	0.10円 円高
1英ポンド	193.70	188.00	2.9% 円高	5.70円 円高
1メキシコペソ	8.32	7.20	13.5% 円高	1.12円 円高
1台湾ドル	4.72	4.50	4.7% 円高	0.22円 円高

2026年3月期 通期予想 連結売上高 地域別増減(対前期)

(単位:百万円)

△ 517



(単位:百万円)

	2025年3月期	2026年3月期	前期比	増減額
日本	19,303	19,600	1.5%増	296
米国	11,742	12,500	6.4%増	757
メキシコ	1,887	2,100	11.3%増	212
中国	2,722	2,300	△15.5%減	△ 422
アセアン	2,938	2,750	△6.4%減	△ 188
欧州	1,422	1,320	△7.2%減	△ 102
為替換算	—	△ 1,070	—	△ 1,070
計	40,017	39,500	△1.3%減	△ 517

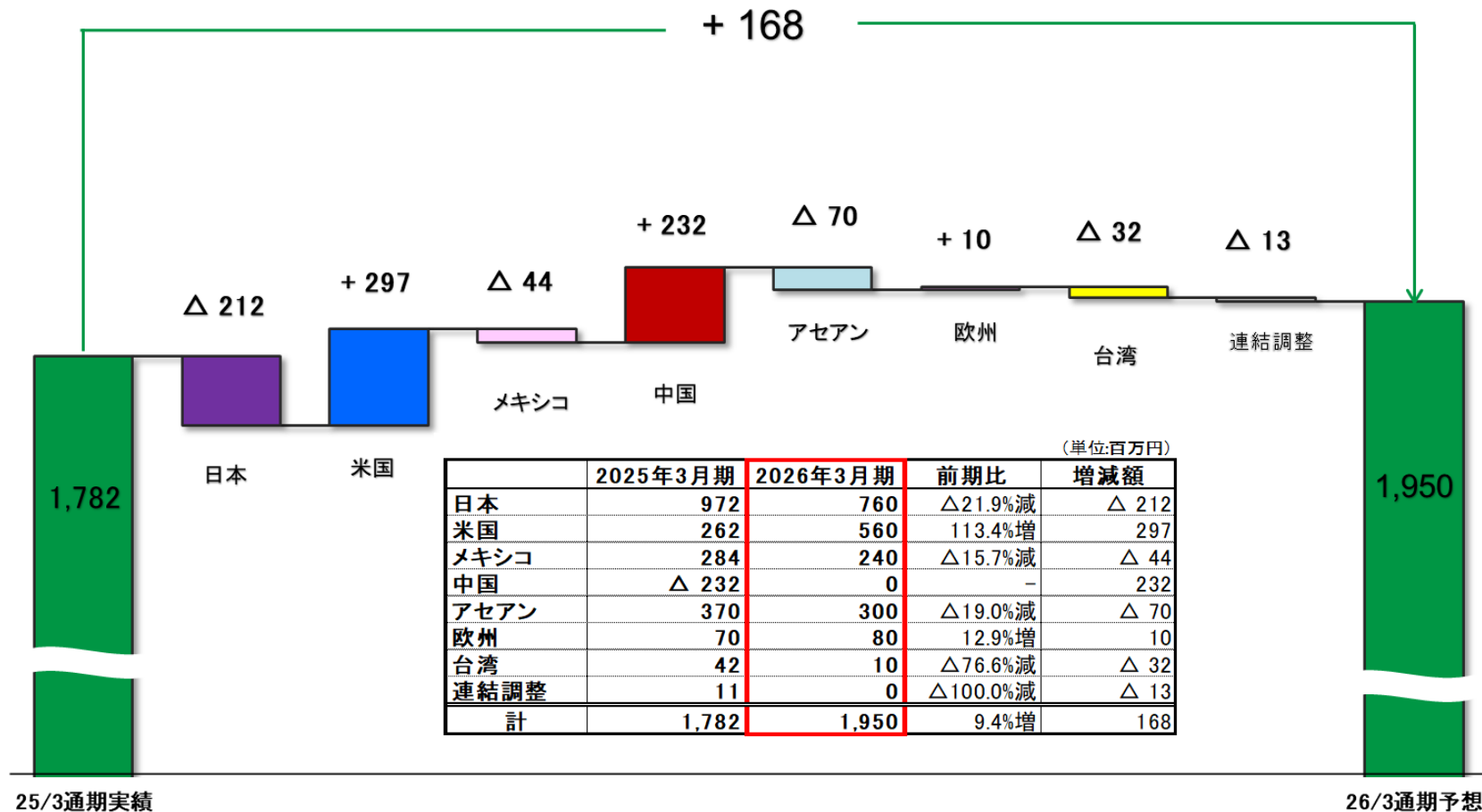
※地域別売上高は外部顧客への売上高です。

25/3通期実績

26/3通期予想

2026年3月期 通期予想 連結営業利益 地域別増減(対前期)

(単位:百万円)



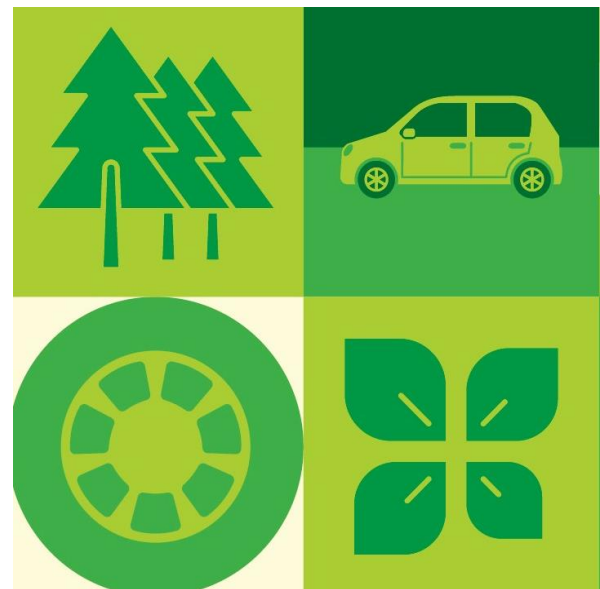
配当予想

(単位:円)

1株当たり配当金	2026年3月期 予想	対前期 増減額	2025年3月期 (実績)
	(予想) 37.00	+3.00	34.00
中間配当金	(予想) 37.00	+3.00	(予定) 34.00
期末配当金	(予想) 37.00	+3.00	(予定) 34.00
年間配当金	(予想) 74.00	+6.00	(予定) 68.00
配当性向	61.5%	—	58.6%
純資産配当率(DOE)	2.5%	—	2.3%

中期経営計画 『～Mission2025+2～』の進捗報告

1. 事業戦略推進事例
2. 連結業績推移・計画
3. 配当推移・計画
4. 経営指標推移・計画
5. キャッシュフロー・アロケーション計画



1. 事業戦略推進事例

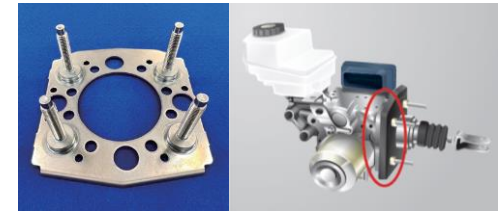
1. 開発機能の強化

(1) 圧入プロジェクション接合技術の適用拡大

- ・ 電動車（BEV、HEV、FCV）開発の過程で得意先に生じる『防音・防振』『小型軽量化』『高強度化』『高精度化』等の新たなニーズに対して、当社独自の加工技術（圧入プロジェクション接合、精密プレス）を活用し、高機能部品の量産化に成功

（事例）

T社様向けHEV車・EV車用電動ブレーキ防振部品を2021年に製品化。Su社様、SZ社様にも拡大し、本件を含め圧入プロジェクション接合技術を活用した部品売上高は、2024年度実績：24億円 ⇒ 2027年：34億円 に拡大見込み



(2) 圧入プロジェクション接合技術の進化と適用拡大

（事例1）

HEV車用駆動伝達部品に圧入プロジェクション接合技術を適用

⇒ 従来工法（熱間鍛造＋熱処理＋全切削＋プレス抜き）に対し、プレートと「圧造＋熱処理＋切削」で加工したボス（円筒形の部品）を圧入プロジェクション接合技術により高強度・高精度で接合

<お客様の価値>

- ・ コストダウン、スクラップ・CO2排出量の大幅削減

（事例2）

EV車用e-Axle減速機に使用される2段ギアの製造に圧入プロジェクション接合を適用

⇒ 従来工法（ギアを一体品として切削加工）に対し、2個のギアを切削加工し圧入プロジェクション接合技術により高強度・高精度で接合

<お客様の価値>

- ・ コストダウン、ギアの小型化によるモーターユニット全体の小型化・軽量化

2. 調達機能の強化

(1) 主要調達先との戦略的調達活動の推進

(事例) グループ主要調達先(株)テーケー（持分法適用会社）にて、需要増加中のHEV・EV車用「電動ブレーキ防振部品」の更なる増産対応のため、新工場の設置、切削加工設備、圧入プロジェクション接合設備を増設



(2) 得意先ニーズに基づく卓越技術を有する新規調達先の開拓による調達基盤の強化

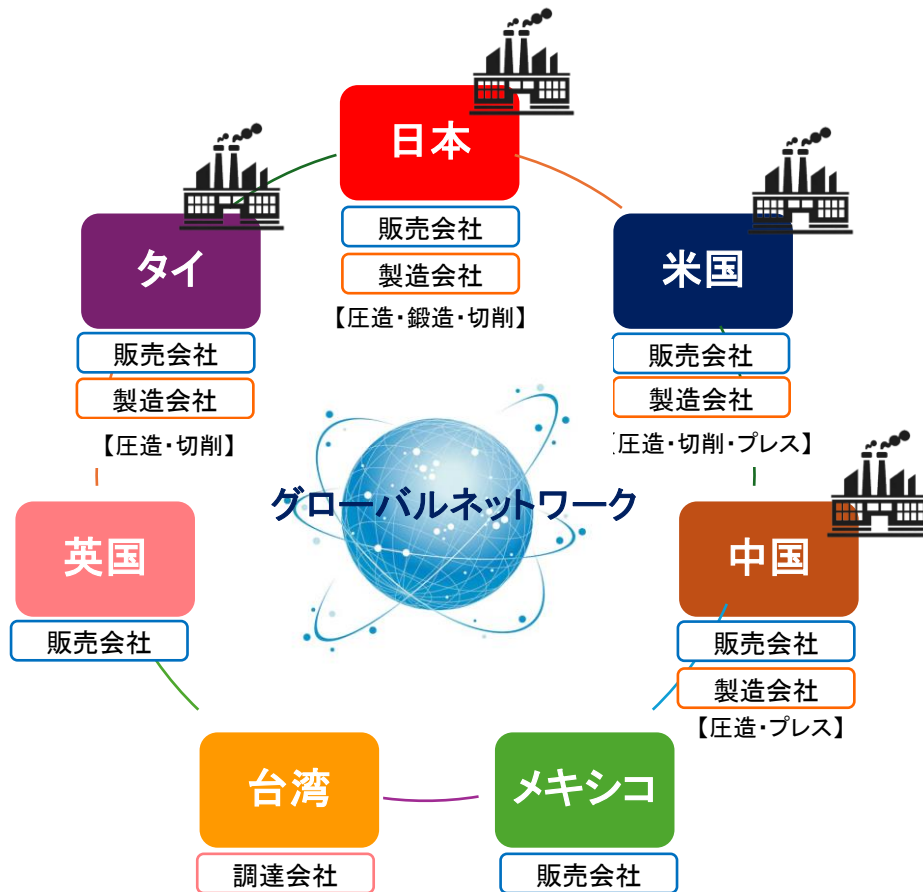
(事例1) 精密プレス加工で卓越した技術を有するY社と新規に取引開始後、協業でEV車用モーター部品を開発し、採用

(事例2) 精密プレス加工で卓越した技術を有するN社と取引再開後、HEV車用部品の他工法からの精密プレス化に成功し、D社様との口座開設に成功。2027年から流動開始予定

(事例3) 精密歯車加工技術で卓越した技術を有するN社と協業で前出の（1. 開発機能の強化（事例2））2段ギヤの開発を推進中

3. グローバル機能（製造機能・供給機能）の強化

日本・米国・中国・タイの4極にて、圧造・プレス・切削の3工法に対応できる生産体制の構築を進め、得意先のグローバルでの現地調達ニーズにベストQCD（Quality, Cost, Delivery）体制で対応



得意先のグローバル現地調達ニーズに対し
同一品質部品を供給

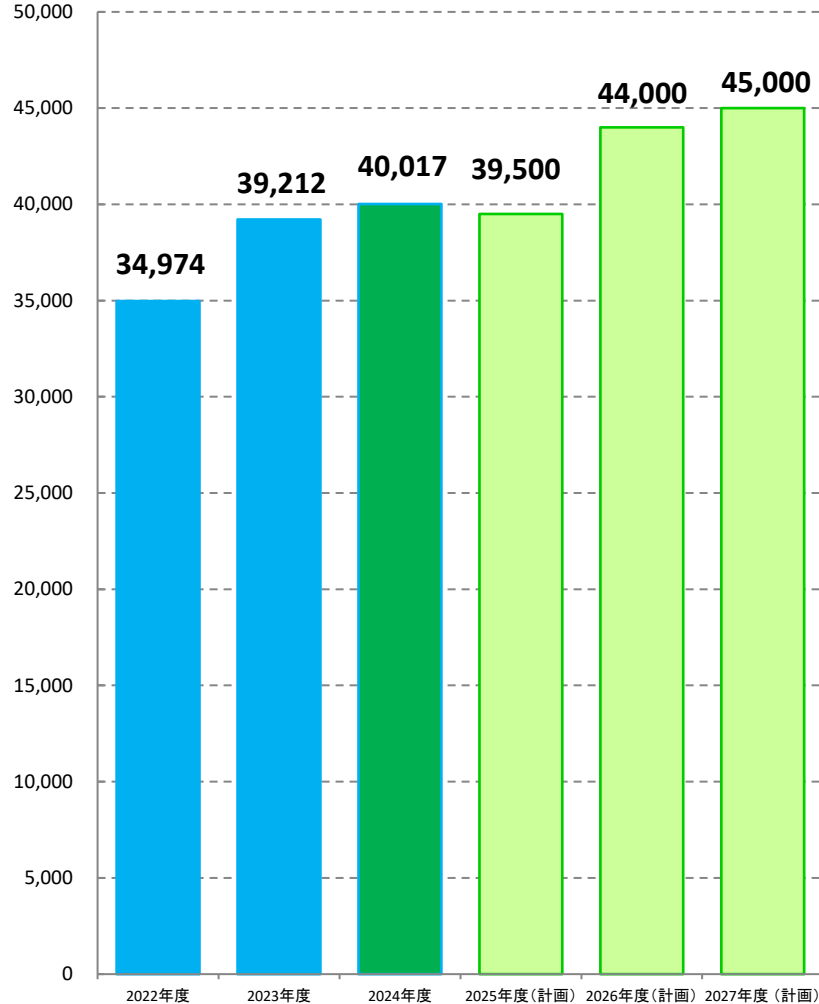
【事例】

- ・ H社様が2026年から米国、ア大地区で製造販売する新たなEV車、HEV車の足回り部品を、米国現法（OTUS）・国内子会社（オーハシ技研工業）が製造・供給するグローバル受注を獲得
- ・ 2025年末の米国での供給開始に向け、OTUSで工場拡張・新切削ラインの設置を準備中。
更に、タイへの供給開始に向け、オーハシ技研工業にて新切削ラインの設置を準備中

2. 連結業績推移・計画

売上高

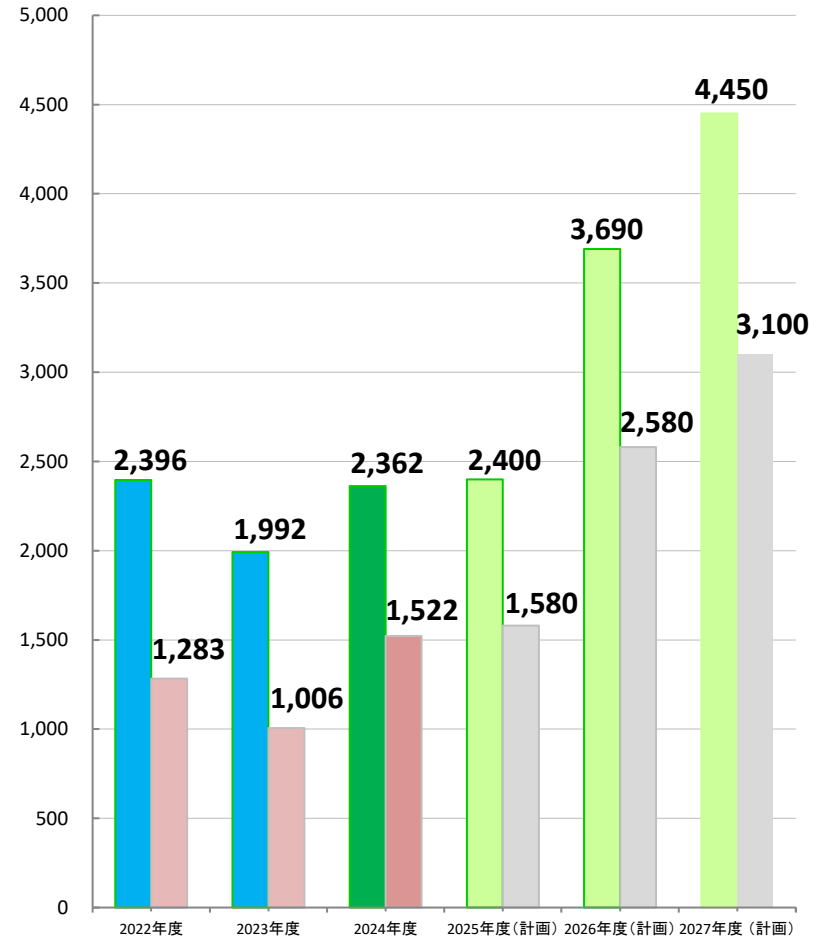
(単位:百万円)



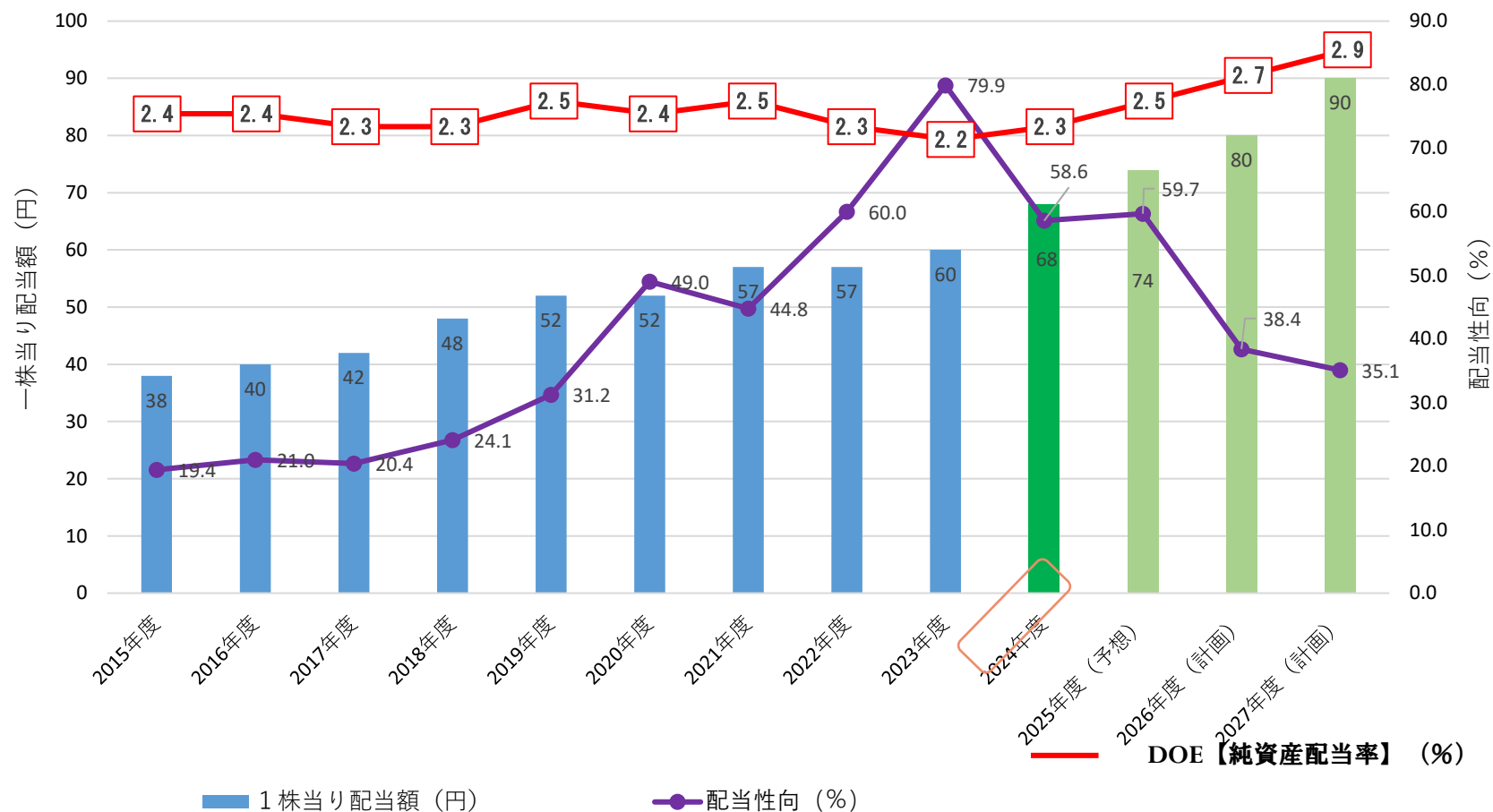
経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益

(単位:百万円)

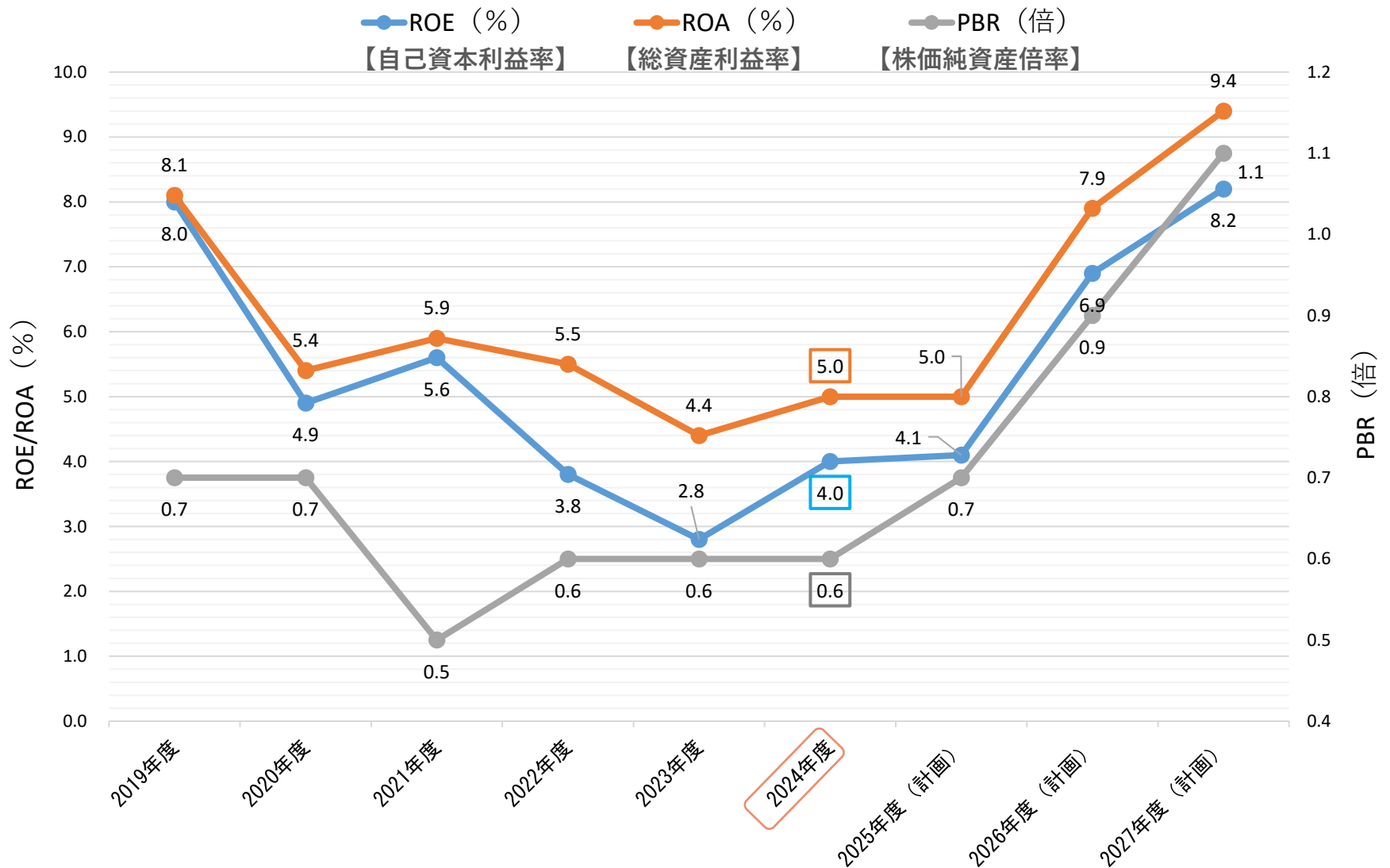
■ 経常利益 ■ 親会社株主に帰属する当期純利益



3. 配当推移・計画



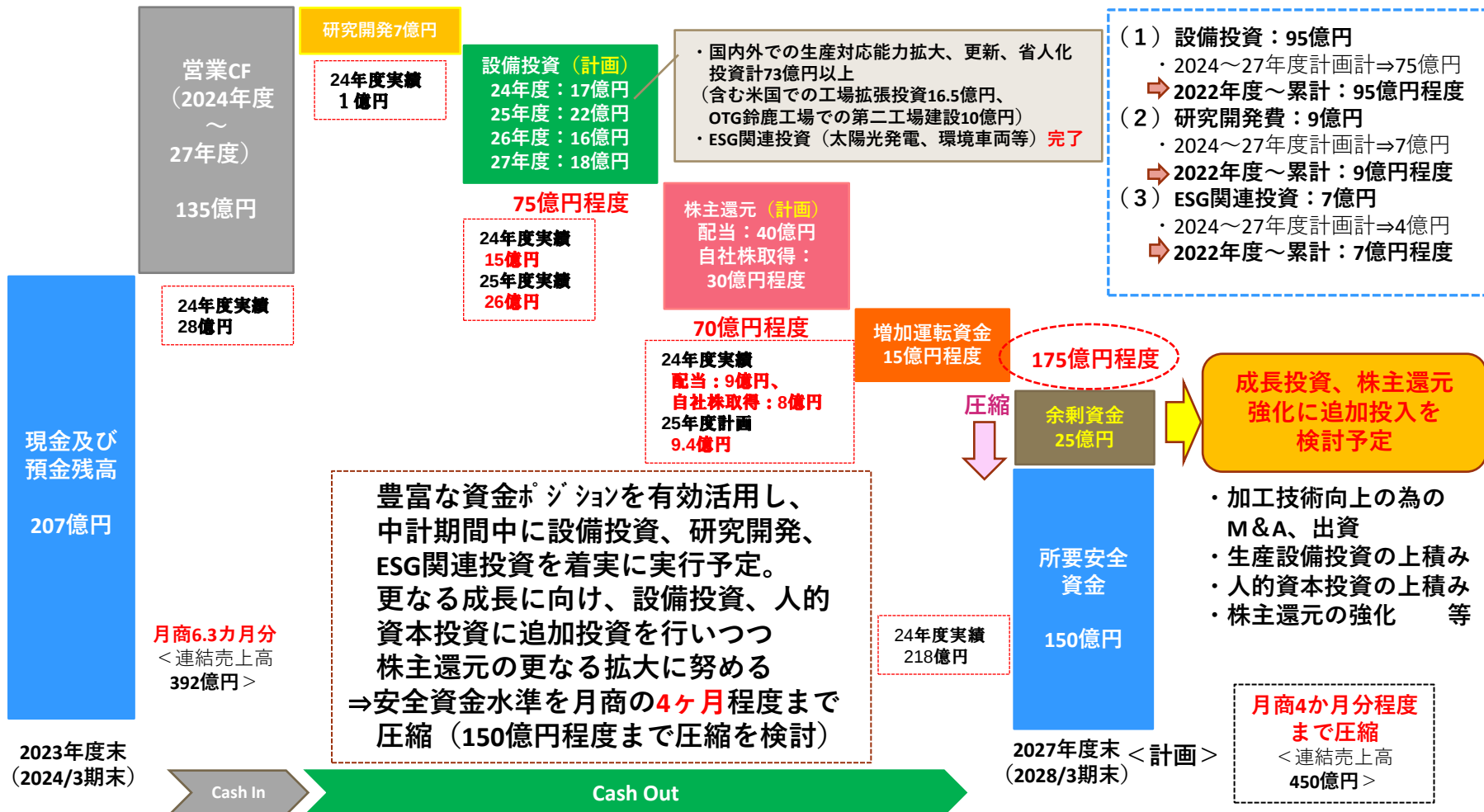
4. 経営指標推移・計画



5. キャッシュフロー・アロケーション計画

Mission2025 + 2（～2027年度）期間

中計定量目標（6カ年）



— ご挨拶 —

本日はお忙しい中、当社決算説明会にご参加くださいます、誠にありがとうございました。
投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、積極的な開示に努めてまいります
とともに、株主、投資家の皆様には安定的かつ継続的な利益還元を目指し、さらなる企業価値
の向上に努めてまいります。

— お願い —

当資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略などに関する情報は、当資料の
作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で行った
判断に基づくものです。しかしながら、通常予測し得ないような特別事情の発生または通常予測
し得ないような結果の発生などにより、当資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じ得るリスク
を含んでおりますことをご承知おきください。



もっといい車を作ろうとしている人に
もっといい部品をお届けします

**車づくりに欠かせない
会社を目指して**

株式会社オーハシテクニカ